

リボ払い。 便利ばかりでは ありません。

読者のご質問にお答えするこのコーナー。

今回はクレジットカードに関するご相談です。

クレジットカードは便利ですし、ポイントもつきます。

現金がなくても買い物ができるので、ついつい使い過ぎてしまうこともあります。欲しい物をすぐに手に入れたいという思いから、支払方法のひとつであるリボルビング払い

(以下リボ払い)を利用する人も増えているようです。

ご質問のケースのように、あとからリボ払いに切り替えたいという

ニーズもあるでしょう。しかし、リボ払いは使い方によっては、

支払期間が長くなり、結果として、返済負担が重くなるケースがあります。

リボ払いを利用するときや切り替えるときには、

注意点をしっかり確認しておきましょう。

文/宮崎真紀子(ファイナンシャル・プランナー)

今回の質問

クレジットカードの
支払額が多くなってびっくり!
リボ払いに切り替えたいのですが…



「リボ払い」は、
このような場面で使えます

リボ払いを利用するのは、どんな場面
でしょうか? まずは、2つのケースを
ご紹介しましょう。

ケース1

8万円のバッグが欲しいけど、手元にお金はありません。以前に旅行代金をボーナス払いにしてしまっているの、これ以上は使えない。そんなときにリボ払いにすると、月々の支払額5000円で、今すぐバッグを手に入れることができます。

リボ払いは分割払いと似ていますが、分割払いが支払回数を「10回でお願いします」などと指定するのに対し、リボ払

いは毎月の支払金額を「5000円でお願います」と指定するところが大きく違います。

ケース2

ついついクレジットカードを使い過ぎてしまつて、今月のカードの支払いができそうにありません。そんなとき、支払いをリボ払いに変更すると、とりあえず今月の支払額を少なくすることができ、キャッシングなどの借金をしなくてもピンチを切り抜けることができます。

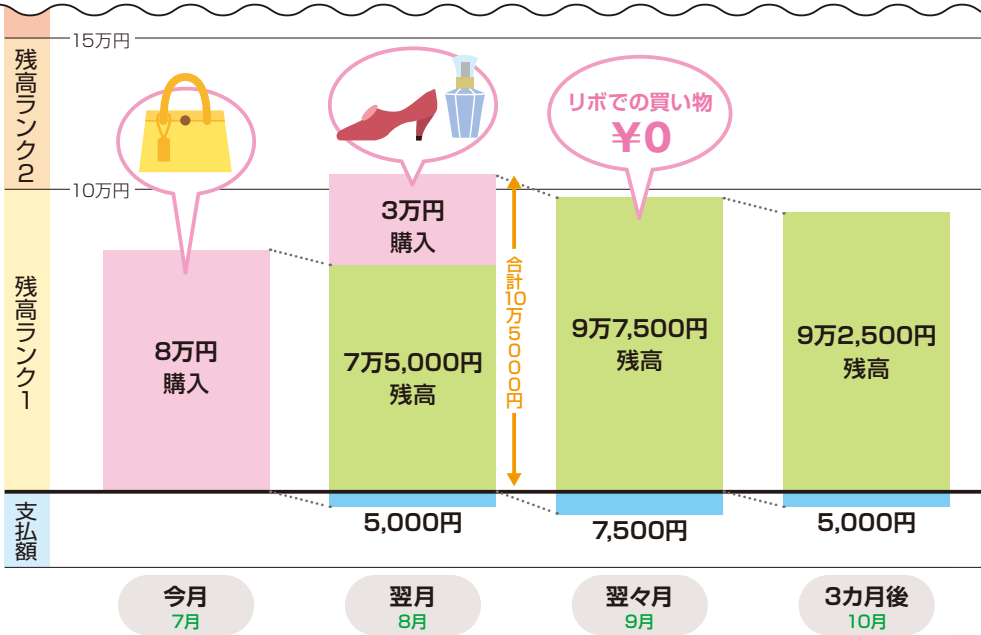
リボ払いを利用する方法は3種類あります。

①商品購入時にリボ払いを指定する方法。普段は1回払いやボーナス払いで支払いをしていて、急な出費や高額な場合に、ピンポイントで利用します。支払方法を尋ねられたときにリボ払いを指定します。(ケース1)の例です。②1回払いを指定した後で、支払方法をリボ払いに変更する方法。いわゆる「あとからリボ」で、(ケース2)の例です。利用明細を見て「今月は使い過ぎた!」となつてからでも、変更することができます。③あらかじめ「カードの支払いは全部リボ払いにする」設定をしておく方法。リボ専用のカードもあります。こうしておくと、買い物つど「リボ払いでお願いします」と言う必要はありません。

図表1：残高スライド方式の支払コースの一例

利用残高	10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満
毎月の支払額	5,000円	7,500円	10,000円
残高ランク	1	2	3

図表2：残高スライド方式の仕組み



※実際の支払時には元金の支払いの他に手数料が必要です。

「リボ払い」とは、毎月のカード利用とは関係なく、月々の支払金額を一定額に決め、その金額を毎月支払っていく方法です。クレジットカード会社によって設定は異なりますが、多くの場合、月々の支払金額が異なる複数の支払コースが設けられており、利用者は自分の払える金額が設定された支払コースを選ぶことができます。例えば、8万円のバッグを毎月5,000円のリボ払いに設定すると、支払回数は16回。実際の支払いには5,000円＋手数料がかかります。手数料はカード利用残高（リボ払いで商品等を購入してクレジットカード会社に返済していない額の合計）に対して一定の料率を乗じて計算しますので、残高が減っていきば手数料も少なくなっていきます。手数料率は15%程度が一般的なようです。住宅ローンの店頭金利2～3%と比べると、かなり割高です。手数料率15%で計算すると、16回の支払総額は8万8,354円になります。同じ8万円のバッグを買っても、毎月1万円のリボ払いに設定すると、支払回数は8回となり、支払総額は8万4,365円となります。1

「リボ払い」の仕組みを押さえましょう

「リボ払い」とは、毎月のカード利用とは関係なく、月々の支払金額を一定額に決め、その金額を毎月支払っていく方法です。クレジットカード会社によって設定は異なりますが、多くの場合、月々の支払金額が異なる複数の支払コースが設けられており、利用者は自分の払える金額が設定された支払コースを選ぶことができます。例えば、8万円のバッグを毎月5,000円のリボ払いに設定すると、支払回数は16回。実際の支払いには5,000円＋手数料がかかります。カード利用残高（リボ払いで商品等を購入してクレジットカード会社に返済していない額の合計）に対して一定の料率を乗じて計算しますので、残高が減っていきば手数料も少なくなっていきます。手数料率は15%程度が一般的なようです。住宅ローンの店頭金利2～3%と比べると、かなり割高です。手数料率15%で計算すると、16回の支払総額は8万8,354円になります。同じ8万円のバッグを買っても、毎月1万円のリボ払いに設定すると、支払回数は8回となり、支払総額は8万4,365円となります。1

回払いのカードの使い方慣れていると、手数料を見逃しがちですが、ここは注意が必要です。少ない金額で設定すると支払いが楽ですが、支払期間が長くなり、手数料の総額が増えてしまいます。

「リボ払い」には、「定額方式」「定率方式」「残高スライド方式」といった方式があります。多くのクレジットカード会社は「残高スライド方式」をとっています。この方式ではカード利用残高の区分によって、支払額が変わります（図表1参照）。図表1のケースでは、残高が10万円未満であれば5,000円、10～15万円未満なら7,500円、15～20万円未満なら10,000円といった具合です。

例えば、図表1のような支払額の設定で、7月に欲しかった8万円のバッグを買ってリボ払いにします。翌8月に5,000円＋手数料を払います。カード利用残高は5,000円減り7万5,000円になります。さらに8月に新たに2万円の靴と1万円の化粧品（合計3万円）を、リボ払いで購入します。カード利用残高は合計10万5,000円になりますので、残高ランクが1から2へ変わり、9月以降の支払額が7,500円に増えます。リボ払いを増やすと困ったことになると思い、9月は買い物にリボ払いを利用しなかった場合、10月は残高ランクは下がり5,000円の支払いに戻ります。これが残高スライド方式の大まかな仕組みです（図表2参照）。



リボ払いで陥りやすい失敗例

欲しい物がすぐに手に入り1回の支払いは少額でOK、月々の支払いが定額なので家計の管理がしやすい、といった便利なりボ払いですが、次のような失敗例もあります。

知らないうちにリボ払いになっていた

作ったカードがリボ払い専用カードだったたり、最初の設定が支払いを全部リボ払いにする方法になっていたということがあります。新しくカードを作るときにポイントがお得に貯まるキャンペーンに惹かれ、よく考えずにリボ払いを選択してしまうこともあるようです。支払方法がどうなっているのかは十分に確認してください。

気がついたら残高が膨らんでいた

これがリボ払いの最も怖い点です。同じ残高ランク(例えば10万円未満)なら、毎月5000円の支払いで買い物を続けることができます。これなら気軽に買い物ができると思ってしまうですが、リボ払いの手数料は一般的に年率15%で計算されています。毎月のように買い物を繰り返していると、カード利用残高は増えてしまい、カードの支払い負担からなかなか逃れられません。また、どの買い物

の支払いが終わったのかもわからなくなってしまう。図表2の例でも、バッグの支払いはいつまで靴の支払いはいつから始まるのか、とてもわかりづらくなっています。3万円の買い物の中で、化粧品が1万円分だけでも1回払いにしていれば、カード利用残高も手数料も減らせたはず。利用明細は必ず確認し、利用残高・毎月の支払額・手数料を把握してください。

いきなり今回の支払額が増えた

残高スライド方式では、カード利用残高に応じて支払額が増減します。5000円の口座引き落としで予定していた、残高ランクが上がってしまったことに気づかないでいると「引き落としできません。カード払いは締切日によって支払月がずれますので、忘れた頃に思っていたよりも多い金額の引き落としがあり、びっくりするということも考えられます。

図表2の例では、残高ランクが上がってしまったことに驚き、翌月はリボ払いを止めています。とはいえカード利用残高は残っていますので、5000円ずつ19回の支払いが必要です。何も買っていないのに1年半以上支払いは続きます。その間5000円の支払いが負担になってくると、またリボ払いに頼ることにな

ります。さらにこの頻度が増えてしまうと、残高ランクが上がリ支払いの負担が増えて、いよいよリボ払いから抜け出せなくなってしまう。挙げ句の果てには、リボ払いでの毎月の支払額すら給料から支払うのが難しくなることも考えられます。

繰り上げ返済ができます

こうならないためには、「繰り上げ返済」を上手に使うのがお勧めです。ボーナス時など余裕のあるときに返済することができ、提携金融機関のATMなどで簡単にできることが多いので、各ク

レジットカード会社に確認してみましよう。今回の事例では、8万円のバッグを一括で支払うのは無理だったのでリボ払いにしました。毎月1万円の支払いにも自信がなかったため、5000円のコースを選び16回で支払うようにしました。でも、頑張れば1万円払える月もあるはず。また、今回は駄目でも次のボーナスで残金を払うことができるかもしれない。実は、リボ払いは「お金を借りて買い物をしている」と同じなので、早く支払いを済ませることが、最もお得なのです。

リボ払いを上手に使うための

ポイント



- 1 カードを作るときにリボ払いについて確認する。
リボ払いで選択した毎月の支払額は自分に合っていますか？ 高額にすると支払えなくなりますが、逆に少額にすると支払期間が長くなってしまいます。
- 2 リボ払いを利用するのは、高額な買い物のとき、または買い物が重なったときに限る。
カード利用全般に言えることですが、毎月の利用明細を確認することはとても重要です。特にリボ払いは利用額がわかりにくいので、ついつい使い過ぎてしまいます。またリボ払いや分割払いを利用すると手数料が必要になります。
- 3 余裕ができたなら繰り上げ返済をする。
繰り上げ返済ができます。これを使って早く返済すると手数料も減らせます。